

## せいあい保育園自己評価（抜粋）

保育理念	キリスト教精神に基づき、神様から愛され生かされている存在としての子どもをありのままに受け入れ、一人ひとりの子どもの心に寄り添い、きめ細やかな保育をおこなう。
保育方針	・子どもが主役の保育を実施することで、主体的にのびのびと遊べる子どもを育てる。 ・安心・安定した園生活の中で心豊かに神と人に愛され、喜ばれる人として成長できる子どもを育てる。

### I、福祉サービスの基本方針と組織について

理念・基本方針	法人の建学の精神に基づきキリスト教を基盤にした保育を行っている。職員に対してはもちろんのこと、利用者、地域に対しても周知に努めている
計画の策定	中・長期計画を立て、理事会等で検討し合い、今後さらなる保育の充実や課題について検討、考察していきたい。
管理者の責任とリーダーシップ	法令等の理解に努め、その遵守や質の向上、また、保育の向上をめざし、さらに努力をすることが今後の課題である。

### II、組織の運営管理について

経営状況の把握	公認会計士による適切な財務管理や会計処理など、定期的にアドバイスを受け健全な運営管理をおこなっている。今年度は大阪市の監査を受け、今後も事業経営に向けて真摯に取り組みをすすめていく。
人材確保・要請	職員の就業状況の把握に努め、常に職員とのコミュニケーションをはかり、定期的に面談するなどしてお互いの情報の共有を図っている。 また、各研修会への参加を促し、お互いに情報交換する等、技術水準や専門性の向上を図っている。
安全管理	責任者・担当者の設置、事故・災害・衛生管理・感染症対策などの危機管理マニュアルを作成し、職員間で周知を行ない不定期ではあるが、検討をおこなっている。
地域との交流と連携	パンフレットの配布、ホームページの公開等、情報提供を行っている。また、子育て相談・子育て支援事業を実施し、連携を図っている。 ボランティアについても積極的に受け入れている。

### III、適切な福祉サービスの実施

利用者本位の福祉サービス	利用者からの意見等に対して意見箱を設置している他、送迎時など相談や意見を述べやすい環境を作り、出た意見・要望や苦情について、職員間・園長と話し合い、迅速な対応に努めている。
サービスの質の確保	職員会議等で意見を出し合い、定期的に話し合い検討している。また、研修会に参加し保育の質の向上、改善に努めている。年度末には自己点検・自己評価を行い保育を振り返ると共に今後の課題を見つけ、より質の高い保育を行うように努めている。個人記録、保育記録、会議記録等についても整備され、職員が共通の認識を持って保育にあたっている。

サービスの開始・継続	ホームページの公開、パンフレットの市民への提供などを行なっているが、内容については今後も検討・内容を充実させて更新していきたい。 入園時には保育サービスについてわかりやすく説明し、理解を得ている。
サービス実施計画の策定、	入園前の聞き取り調査、身体状況や生活状況を把握するため、統一された様式を作成し、指導計画に反映させている。1人ひとりに対する保育の質の向上を図るため、会議を行ない職員全体・クラス単位で評価・見直しを行なっている。

### 保育の計画の編成と実施に関する評価

保育目標は、子どもの実態に応じて検討し見直しを行っている。また、指導計画を元に、日々成長する子どもの発達に合わせて環境構成を変化させ工夫し、日々の保育を振り返り、その都度反省や評価に基づいて改善するように努めた。一日の流れは、子どもの成長に合わせて徐々に活動時間を延ばす等一日の流れを常に見直している。行事の内容。回数共に子ども達が無理なく楽しむことができるものだと思う。

### 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

子どもの状況に応じて担任間で話し合いねらいを設定し、話し合いを重ね意識統一をすることができた。職員会議に全員が出席できたらなお良いと思う。研修での内容をクラスで共有し、保育に生かすことができた。個人情報取り扱いに十分注意をしている。安全点検は行っているが、計画的ではない。見学者は随時受け入れ、園庭開放、子育てサークルを行っている。常日頃から保護者とコミュニケーションをとり、相談しやすい環境づくりに努めたことで家庭との連携を図ることができた。

### 今後の課題

課題	
自己点検・評価	今後もさらに項目内容について協議し、検討を重ねていく。
情報公開	ホームページについて、分かりやすく充実した内容の検討をし、利用者にとって必要な情報の提供をしていく。
安全・事故防止	職員一同、マニュアルの熟知・実行に取り組んでいく。
環境整備と保育内容	子どもたち一人ひとりを尊重した保育・指導計画を作成し、ゆったりと安心して過ごせる環境づくりと健全な発達を援助する環境を保障していく。さらに、職員一人ひとりの専門性・技術を高め、日々の保育の見直しと指導計画の作成に取り組む。